

回	開催日	所長報告	すばる運用
SAC9	2011/4/22	<ul style="list-style-type: none"> ・PFSについてはIPMUとNAOJの間で交わすMOU案を作成した(「PFS計画をNAOJは支持する、装置完成後にはすばるに取り付けて戦略枠観測を行う」という内容) ・HSCはいろいろな面で震災の影響を受けているが、よいニュースとしてはデータ解析体制の予算が認められてHSCサブプロジェクト内にデータ解析チームが発足した。HSC立ち上げに伴う望遠鏡のダウンタイムは未定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・汎用の観測所装置について、TMTや時間交換も視野に入れつつ検討していくことが重要だ。PFSは可視の装置なので、観測所内ではAOを用いた赤外装置についての検討を進めている。 ・SEEDSのS11B夜数について、当初予定より2夜増やしたいとの申請がPIから出され、これを承認した(S11Bダウンタイムが当初予定より減った場合)。 ・FMOS戦略枠提案 体制作りの評価(結果はサイエンス審査が終わるまで非公表) ・S11B GT夜数(FMOS 8夜、AO188 6夜)の承認
SAC10	2011/5/20	<ul style="list-style-type: none"> ・PFSについてはMOU案の回覧中。 ・HSCコミッショニングのためのS11Bダウンタイムは10/24～11/8、1/4～1/31の44夜に決まった。S12Aにも30～40夜のダウンタイムがある。 ・9月にパサデナで開かれるKeckサイエンス・ミーティングにSACから1名出席してほしい。 ・GeminiのSimons所長が退任した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・FMOS戦略枠提案の審査→戸谷提案を条件付き仮採択とした。7/19のSACで体制が強化されたと認められた場合はS11Bで5夜の観測を認める。S12Bの採択会議までにTACが提示した条件が満たされれば正式採択とし、FMOS HRモード、Hバンドで2年間40夜(S11Bの5夜も含む)のRSD観測を認める。提案チームが要求している余剰ファイバーの他天体への利用は認めないこととした。
SAC11	2011/6/21	<ul style="list-style-type: none"> ・ハワイ観測所の教授選考が終わり、所長選考が始まる。 ・PFSはステアリングコミティーの下にタスクフォースを形成して議論を進めている。 ・HSCコミッショニングのためのダウンタイムは2012年3月上旬まで続く予定だが詳細は未定。 ・東大天文センターとの協定書について(TAO用の観測装置の試験観測をすばるで行う際のサポート、人材交流について)承認 	<ul style="list-style-type: none"> ・HSC狭帯域フィルターの製作申請5件を承認 ・望遠鏡時間の使い方について:PFSについては戦略枠で観測を行うということでUMの同意を得たので、戦略枠という枠組みは維持する必要がある。 ・すばるをサーベイに特化することについて各委員の個人的な見解を確認→サーベイが増えていくにしても個別観測は残してほしい。現時点で大きく舵を切るのは危険。 ・広報用の画像を取得するための観測時間確保について、次回広報室から提案してもらう。 ・外国人提案採択率の分野間不均衡について(ユーザー意見)→分野別の調整は不要との意見が大半だが、状況を精査した上で次回再検討する。 ・光天連推薦を受けて、次期TAC委員候補者の選定(留任委員が3名、系外惑星担当を新設するので新委員は7人)
SAC12	2011/7/19	<ul style="list-style-type: none"> ・望遠鏡トラブル報告:7/2の朝、主焦点付近で冷却水漏れが発生し、観測を停止している。S-Cam, FOCAS, カレグレンのオートガイダーの復旧には時間がかかる見通し。 	<ul style="list-style-type: none"> ・望遠鏡トラブルに伴って、リースケジュールに最大限の努力をするが、S-Cam, FOCAS, カセグレンのオートガイダーを使用する観測についてはS11B期内に復旧しなければ補填は困難。 ・S12Aの公募については装置の状況がもう少しわかってから観測所案を作成し、SACの持ち回り審議を経て公募要項を公開する。 ・PFSのサイエンスには三本の柱があるので、PFS戦略枠の枠組みについては複数の公募も視野に入れて検討していく。 ・仮採択されたFMOS戦略枠チームから再提出された体制作り報告書を検討し、十分な体制が組み立てられていると認定し、9月に仮配分されている5夜の観測実施を承認した。 ・外国提案のカテゴリ別採択率については、過去3年間の動静を調べても特別な対応が必要とは認められず、これまで通り審査はTACに一任する。ユーザーからの意見はTACに伝える。 ・すばるを一般に宣伝するための広報用画像取得のためにセメスタあたり半夜程度を使用し、広報室とハワイ観測所が連携して進める。 ・SEEDSの中間審査は2012年4月までにSAC(+現TACから数名)で行う。

回	開催日	所長報告	すばる運用
SAC13	2011/9/13	<ul style="list-style-type: none"> ・冷却水漏れ事故について、事故調査委員会による報告書がまとまった。ケーブル巻き取り機構の束ねたケーブルを誤って回転部分に固定してしまったという直接原因のほかに、作業の報告体制・チェック体制の不備、作業マニュアルの不備、トラブル発生時の情報伝達の不備等の間接原因が指摘されたので、改善を急いでいる。 ・修復箇所に優先順位をつけるようにこの国立天文台首脳部の指示に従い、ハワイ観測所としては1.カセグレン オートガイダー 2. FOCAS 3. S-Camの順としたが、3についてはHSCで代替可能との意見があり、SACで検討していただきたい。 ・FMOS観測が遅れたので、S12A採択会議前にFMOS SSPプレ観測の結果をまとめるのは難しく、TACに仮配分をお願いする可能性がある。 ・HSCはほぼ予定通り進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・S-Camの修復に関する議論 S-Camはユーザーに一番使われているすばるの主力装置であり、多数のユーザーフィルターを擁している。HSCの安定稼働までにはなお時間がかかるので、是非とも修復が必要。SAC委員長名で台長宛に修復要望書を提出することとした。
SAC14	2011/10/18	<ul style="list-style-type: none"> ・冷却水漏れ事故で修復が必要になったカセグレンオートガイダー、S-Cam、FOCASは全て修復することになった。オートガイダーとS-Camの共同利用再開は2012年6月頃になる見込み。 ・10/1付けで高見所長代理が所長に就任した。来年4/1に有本委員長が所長に就任する。 ・HSCに遅れが生じているため、ダウンタイムにも変更がある見込み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・S12A GT夜数の承認(LGS-AO 3夜) ・インテンシブ枠について：FMOSについてはUKとの協定に基づきUK側装置関係者のインテンシブ枠への応募を認めることとし、S12Bの公募要項に明記する。 ・FMOS戦略枠の今後の審査スケジュール：PIからの進捗報告メールの検討。次回のSACでヒヤリングを行い、装置状況も詳しく確認した上で正式な採否を決定する。 ・議論の起爆剤として委員長から「外国人PI廃止」の提案：外国人PIは時間交換枠への応募のみとし、VLTとの時間交換も導入、かえって国際協力が進むのではないか？という提案だが、委員からは現実的でない、かえって論文生産が落ちるのではないか等の反応。次世代の育成が重要でそのための方策を探る点では一致。
SAC15	2011/11/15	<ul style="list-style-type: none"> ・新副所長、大橋永芳氏の紹介。今後SACにオブザーバー参加する。 ・HSCコミショニングに伴う望遠鏡ダウンタイムは、2012年1月分は中止となった。そのため新たに21夜の共同利用時間割り付けを行う(ハワイ大学時間は7夜)というのが観測所案。 ・光赤外専門委員会から2010年3月に台長宛に提出された報告書で発言されている内容について、ハワイ観測所分の検証の提案があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2012年1月の共同利用時間配分に関する観測所案を承認 ・戦略枠の公募について、HSCは従来通りの枠組みで公募するが、PFSについては装置の性格上、一装置一課題の制限を外して公募することとした。複数課題の採択が可能になるが、戦略枠夜数の上限が年間60夜であることは変わらない。 ・FMOS戦略枠ヒヤリング：S11Bに行われた5夜のプレ観測結果報告、装置の現状確認、質疑。審査の結果、輝線の誤検出率についてさらに詳細な報告を書面で受けた上で、S12Aの1回目の観測実施の可否を判断する。正式な採否はその観測結果を受けて決定する。
SAC16	2011/12/20	<ul style="list-style-type: none"> ・HSCコミショニングに伴うダウンタイムは4月までの分は全てキャンセルし、TACに追加採択を依頼した。 ・冷却水漏れ事故でS-Cam、FOCASが使えなくなり、影響が大きかったハワイ大学には、所長裁量時間で若干夜融通した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・FMOS戦略枠 輝線検出効率に関する報告を検討し、観測継続を承認 ・宮崎氏からHSC進捗報告(補正光学系は当初疑われた鏡筒の変形・ずれがないことがわかった。フィルター交換機構はテスト中) ・HDS整約済みデータの公開報告(DASH打ち切りによって停止していたHDSデータの処理・公開をJVOで再開した) ・柏川TAC委員長からのTAC報告(S12A公募の問題点=>追加公募の枠組みの議論が必要)

回	開催日	所長報告	すばる運用
SAC17	2012/1/26	<ul style="list-style-type: none"> ・すばるの来年度予算は今年度と同額が認められた。 ・はやぶさ2のための観測は結果が出ず、引き続き協力を要請されているが、情報収集した上で決める。 ・GeminiとのMOU改訂案がGemini側から示された。年度内に締結したい。(国際協力の欄参照) 	<ul style="list-style-type: none"> ・追加公募の枠組みについて検討(採択課題を公開した上で、期間・装置限定で公募をかける。公募開始から採択まで約1か月。SJは1ページに短縮) ・SEEDS中間審査は4/6(金)JSTに大セミナー室で中間成果報告会を公開で行い、その後SAC審査。 ・持込装置の扱い・現有装置のデコミッションに関する継続審議
SAC18	2012/2/24	<ul style="list-style-type: none"> ・はやぶさ2についてJAXA上層部から説明を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海老沢氏の提言を受けてデータ・アーカイヴについて:HSC稼働を契機にデータ・アーカイヴを整備すべきである、という認識は共通だが、まず評価の高いSDSSのデータアーカイヴについて講師を招いて勉強することとした。
SAC19	2012/3/13	<ul style="list-style-type: none"> ・はやぶさ2について、S12Bについては共同利用時間に応募し、S12AについてはJAXAからGeminiに直接依頼することとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データアーカイヴ勉強会(講師:安田直樹氏、SDSSのデータアーカイヴについて)。SDSSデータの均一性が有利に働いているが、すばるの多様なデータは扱いが難しいという指摘。次回HSCチームの宮崎氏を招き、データベースに関する意見交換を行うこととした。

回	開催日	UM、シンポジウム等	光赤外専門委員会・SAC内	国際協力	その他
SAC9	2011/4/22	・すばるAO-WSの開催準備を進めている(当初6月の予定だったが震災のため9月に延期)		<ul style="list-style-type: none"> ・Raven(カナダが製作する他天体AO デモンストレーター) CoDR参加報告 ・Gemini装置委員会 参加報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・東北大からの震災報告(負傷者はいないが本棚が倒壊して大変だった) ・PASJ すばる特集号(19編収録)の刊行報告
SAC10	2011/5/20				
SAC11	2011/6/21		・川端委員が都合により今回で退任した。		
SAC12	2011/7/19	<ul style="list-style-type: none"> ・PFSコラボレーション会議(7/11-13)報告(日本のコミュニティが加わるという合意ができた。次回は2012年1月のUM直前に行う) ・今年度のすばるUMは2012年1/11午後-1/13午前の日程で三鷹で開催する。 ・9月の光天連シンポでSAC reportをするのは本原委員、ファイル準備は有本委員長 	・次期TAC委員候補者名簿を光赤外専門委員会に提出する。	<ul style="list-style-type: none"> ・9/23-24にパサデナで開催されるKeckサイエンスミーティングにはSACから有本委員長が参加する。 ・CFHTを8-10Mに改造し、高分散分光器によるサーベイに特化しようという計画がある。 	

回	開催日	UM、シンポジウム等	光赤外専門委員会・SAC内	国際協力	その他
SAC13	2011/9/13	<ul style="list-style-type: none"> ・光天連シンポジウム報告(ユーザー意見の紹介) 戦略枠について: 審査を日本人主導で、空き時間の有効利用を、一装置一課題の制限撤廃を インテンシブ枠再考・ソフトキュー検討の必要性、院生枠に関するアンケート結果の紹介等 ・すばる次世代AO WS報告 MOAO, GLAOの提案をしたことで具体的な議論ができた 		<ul style="list-style-type: none"> ・LSSTへ参加意思を示す台長レターを送った(資金はないので人的貢献をする意思の表示、日本人もLSSTのデータを使えるように) ・KASIとの共同研究を進めるようにとの台長からの指示があったが、まだ具体的な方向性が見えない。 	
SAC14	2011/10/18	<ul style="list-style-type: none"> ・UM日程変更の確認(2/28午後から3/1) ・世話人の人選 ・サイエンス中心の内容にするが詳細は世話人で検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SACの出席率が低下しているので、委員への出席呼びかけ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Keckサイエンスミーティング参加報告(プログラム構成が分野ごとでなくランダムな点が新鮮。女性研究者が約半数を占める) 	
SAC15	2011/11/15	<ul style="list-style-type: none"> ・第三回すばる国際研究集会開催報告(23の国と地域から141名の参加者があり盛況だった) ・UM世話人は鈴木竜二、田中雅臣、有本信雄(三鷹)、仲田史明、児玉忠恭(ハワイ)、佐藤文衛(台外)の各氏。 	<ul style="list-style-type: none"> ・光赤外専門委員会報告書のハワイ観測所に関する部分の提言について現状を確認。ハワイ観測所のアイデンティティについてはSACとしても今後検討して新たな提言書をまとめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PFSにジョンズホプキンス大学が正式に加わる事が報告された。 	
SAC16	2011/12/20	<ul style="list-style-type: none"> ・UMのビジネスセッションに加えるべき項目の検討 ・第4回すばる国際研究集会案(2012年6月にパリでIAPと共催。テーマは銀河の恒星種族) ・第2回すばる望遠鏡公開講演会案(2012年3月4日、一橋記念講堂、テーマは銀河進化) 	<ul style="list-style-type: none"> ・SAC提言書の項目、担当者の決定 ・2012年4月以降は現SAC委員長が観測所長となるため、吉田副委員長が委員長を務める。次の改選の際には、TAC委員1名、TMT小委員会から1名を入れて連携を密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・GeminiとのMOU案の再検討、KeckとのMOUが必要(所長報告) 	

回	開催日	UM、シンポジウム等	光赤外専門委員会・SAC内	国際協力	その他
SAC17	2012/1/26	・UMのファースト・サーキュラーの紹介	・第2回「SACに物申す」海老沢研氏 (ISAS/JAXA): データアーカイブはプロジェクトの成否を左右する非常に重要なポイント。大量のデータが得られるHSCについてはパイプラインを実装し、処理済みデータが誰でも利用できるようなユーザーインターフェースの構築が望まれる。SMOKAとJVVOの連携も必要。	・GeminiとのMOU改訂案(すばるをGeminiのパートナーと同等に扱う。キュー時間をBand1-3に振り分ける。Band1課題は次の2セメスタに持越し可能)	
SAC18	2012/2/24	・UMプログラムの紹介 ・UMでのSAC報告の内容の検討 ・可視赤外装置技術WS 開催報告	・SAC改選について、改選数が多いので、継続性を保つために数人の委員に留任をお願いする。 ・SAC提言書、アウトリーチの項の素案の検討	・GeminiとのMOUについて確認し、時間交換の対象はノーマル枠のみとし、PI装置は含めないこととした。 ・韓国KASIから3名の研究者が来所し、今後連携を進めることになった。手始めに11月に韓国に合同WSを開催する。	
SAC19	2012/3/13	・第2回すばる望遠鏡公開講演会 開催報告 (330名の参加があり大盛況だった)	・SAC提言書、TMTとの連携に関する素案の検討 ・光赤外専門委員会への報告内容の検討 ・SAC改選について内部委員は留任とし、外部委員も半数の方に留任を依頼した。改選分(4名)について光天連に候補者推薦を依頼する。	・GeminiとのMOUは締結直前まで来ていたが、Gemini側が5月のボードで審議したいとのことなので、締結が遅れる。 ・KASIとの連携について、こちらにもメリットがないと進められないという意見が複数あった。	・PFSの概念設計審査が3/19-3/20にヒロで実施される。